発行　潮来市立図書館（〒311-2436 茨城県潮来市牛堀 289）TEL　0299-80-3311　URL　https://lib.itako.ed.jp/

第7期 子ども司書講座 新聞

めざせ！キッズライブラリアン

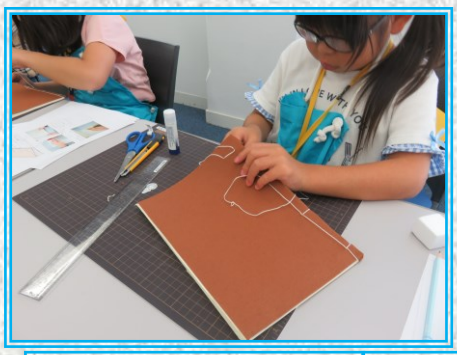
第6号

和綴じで読書ノート作り

和綴じ（わとじ）本を見たり、聞いたことはありますか？

なんだかむずかしそうな言葉に思えますが、和綴じとは古くから日本で使われていた書物の製本方法の１つです。昔は、現代のように、機械で製本された書籍ではなく、紙、和紙を束ねて糸で綴じていました。それが和綴じです。２つに折った和紙に表紙を付けて丈夫な糸でとじていきます。題せんと呼ばれるタイトル紙を貼ったり、色鮮やかな紙を表紙にしたり、いろいろ工夫ができます。今回の子ども司書講座では、読書ノートを和綴じで作るチャレンジをしました。

簡単に作れる！？



和本を作るときの材料は、表に貼る紙（できれば厚手のものが良い）、各ページとなる紙、糸と針です。今回の講座では、「キハラ株式会社の和綴じ本セット」を使用しました。必要な材料と作り方マニュアルも揃っています。和綴じの基本的な綴じ方の１つでもある「４つ目綴じ」という方法を使って作りました。束ねた紙に４つの穴をあけて、そこに糸を通します。本来は、無地の紙ですが、今回は図書館が作成したオリジナルの読書記録用紙を使いました。それぞれの紙を束ねて、目印に穴をあけて・・・最初は上手にできませんでしたが、慣れてくるとスムーズに作業をしていました。目打ちと呼ばれる針で穴をあけますが、自宅でチャレンジするときはコンパスでも代用できます。図書館の司書さんからやり方を教わりながらがんばって作りました！

読書ノート完成！

次回は出版社のお仕事紹介！

次回の子ども司書講座は『出版社のお仕事紹介！』として、１冊の本が完成するまでにどんなお仕事をしているのか、出版社で働いている方から解説していただきます！まだまだ知らない本の世界やヒミツが沢山！お楽しみに！